

2018 年秋学期の全時間訓練のための  
メッセージアウトライン

主題：  
中心的なビジョン

メッセージ 13

神の建造としての召会に対する神の享受

聖書：啓 3:11. イザヤ 28:5. ローマ 5:17, 21. ヨハネ 4:14 後半. 詩 36:8-9

- I. 恵みとは、その霊としてのキリストにある神であり、わたしたちの享受のためです。わたしたちは今日の勝利者とならなければなりません。それは、神を享受して神の建造となることによって、神の永遠のエコノミーの中に生きる人たちです——ヨハネ1:14, 17. II コリント13:14. ガラテヤ2:20. 参照、I コリント15:10：
- A. 神の永遠のエコノミーは、人が神を食べ飲みして神を享受することです。それによって、人は神の成長をもって成長して、神の建造となることができます。神の建造とは、キリストの有機的なからだであり、それは神の表現のための家であり、また神の行政のための神の王国です——創1:26. 2:7-14, 22. サムエル下7:13。
- B. 三一の神はご自身の種類にしたがって人を創造し、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって」人を造りました。(創1:26前半)、また神は人を霊のあるものに創造しましたが、それは人が神を享受するため、すなわち、神と接触し、神を受け、神を礼拝し、神を生き、神のために神の定められた御旨を成就し、神と一になるためです——2:7. ゼカリヤ12:1。
- C. 神が人をエデン、楽しみ場に置いたことは、神が人の喜び、享受、楽しみ、娯楽、満足、すべてとなることによって、人を幸いにすることを求めていたことを示します。もしあなたが神の臨在の中で喜んでおらず、幸いでないなら、それはあなたが神に対して正しくないことを意味します——ローマ14:17. 詩95:1. 100:1. 参照、コロサイ2:2。
- D. 再生された後、わたしたちはエデンの園の縮小版となります。すなわち、わたしたちの魂の思いはわたしたちのパーソンを代表し、わたしたちの肉の中の罪はサタンを代表し、わたしたちの霊の中のその霊は神を代表します。わたしたちは霊の中か肉の中か、いずれかの中にいます。第三の場所はありません。「肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です」——ローマ8:6. 7:22. 8:2, 16。
- E. 神は人をエデンの園に置き、それを耕させて神の表現とならせ、また神の権威によってそれを見張らせました——創2:15. 1:26：
1. 地は人の心を予表し、キリストは命の木の種としてその中にまかれます。地を耕すことは、わたしたちの硬い心をほぐし、砕いて、わたしたちの心を天に開かせることを表徴し、それは雨としてのその霊がわたしたちに水を注いで、神をわた

したちの中で成長させるためです——ルカ8:15. イザヤ55:8-11。

2. 地を耕すことは、命の木に自分自身を開くことです。地を見張ることは、善悪知識の木に自分自身を閉じることです——Ⅱコリント11:2-3. ローマ8:6. 参照、レビ5:2。

**Ⅱ. 神の建造となる神の道、ヒラデルヒアの道は、神の当初の意図にわたしたちを連れ戻します。それは、わたしたちが、わたしたちの賞、褒賞、冠としてのキリストにある神を享受することによって勝利を得て、神の永遠のエコノミーの中に生きて、神の建造となるためです——啓3:11. ペリピ3:8, 14 :**

- A. 勝利者たちは、彼らの避け所のための巣である青銅の祭壇の実際としての十字架に付けられたキリストを享受する秘訣と、彼らの安息のための家である金の香壇の実際としての昇天の中にある復活のキリストを享受する秘訣を学びました——詩84:3-7, 10-12. 43:4前半. 参照、ペリピ4:11-13。
- B. 計り知れない豊富なキリストを予表するささげ物は、神と奉仕する祭司たち、両方の享受です。わたしたちの祭司としての奉仕に対する唯一の褒賞は、わたしたちにとってすべてであるキリストです——民18:9, 31. マルコ9:7-8. Iコリント1:9。
- C. 流れる三一の神としてのキリストご自身は、わたしたちの享受、わたしたちの賞、わたしたちの極めて偉大な褒賞、わたしたちの冠です。わたしたちは際限なく満ちあふれる恵みとしての彼を絶えず受けなければなりません。それは、恵みがわたしたちの中で支配して、わたしたちが命の中で支配し、永遠の命の総合計である新エルサレムとなるためです——創15:1. ローマ5:17, 21. ヨハネ4:14後半. 詩36:8-9. 啓22:1-2前半 :
  1. 恵みがわたしたちの中で支配するとき、わたしたちは命の恵みの支配の下にあります。また、わたしたちはサタン、罪、死を支配して、からだの生活を行ない、サタンをわたしたちの足の下に踏み砕きます——ローマ5:21. 8:2. 12:1-3. 16:20。
  2. わたしたちはあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、絶えず恵みの御座に進み出なければなりません。わたしたちは神聖な源としての支配する小羊・神に来て、わたしたちの存在の深みから自分自身を開いて、恵みとしての彼で満たされなければなりません——ヘブル4:16. 啓22:1. ヨハネ1:16。
  3. わたしたちは澄み渡る空を、すなわち、からだの交わりの中で主との澄み渡る交わりを持って持つほど、ますます神の御座の下にあって、天的な電線となって、神の支配する臨在の天の御座を地上に伝達するようになります——エゼキエル1:22, 26. 啓22:1-3. 列王上10:18. ローマ5:17. マタイ24:14。
- D. 復活の力として、また神の輝きとして、わたしたちによって享受されたすばらしいキリストがわたしたちの勝利の力となることが、わたしたちの冠、わたしたちの賞、わたしたちの褒賞です——創15:1. 詩歌169番おりかえし :
  1. 「わたしはすぐに来る。だれもあなたの冠を奪うことがないように、自分の持っているものをしっかりと保っていなさい」——啓3:11. 参照、詩103:1-4。
  2. 「その日、万軍のエホバは、ご自身の民の残された者 [レムナント] にとって栄光の冠、また美の王冠となり」——イザヤ28:5. 参照、出28:2。

3. 「死に至るまで忠信であれ。そうすれば、わたしはあなたに命の冠を与える」——一啓2:10後半。参照、ヤコブ1:12後半。I コリント8:1-3。
  4. 「今からは、義の冠がわたしのために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それをわたしに授けてくださいます。わたしだけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます」——II テモテ4:8。
  5. 「彼の頭に巻き頭きんをかぶせ、その巻き頭きんの上に聖なる冠をいただかせなければならぬ」(出29:6。参照、レビ8:9)。「純金の記章を作り、印章の彫刻のように、その上に『エホバに対して聖』と彫らなければならぬ」(出28:36)。
  6. 「あなたがたの間の神の群れを牧養しなさい。……そうすれば、牧者の長が現れる時、あなたがたは、しぼむことのない栄光の冠を受けます」——I ペテロ5:2, 4。
  7. 「あなたがたは知らないのですか？ 競技場で走る者はみな走りますが、賞を受けるのはただ一人です。あなたがたは賞を得るために、このように走りなさい。競争する者はみな、すべての事で節制します。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうしますが、わたしたちは朽ちない冠を受けるためにそうするのです」——I コリント9:24-25。
- E. 上記の内容すべてが啓示するのは、わたしたちがキリストをわたしたちの命の賞として享受するとき、彼はわたしたちの三部分から成る存在全体の中へと分与されることであり、それは、義と聖と栄光という、計り知れない豊富で神聖な属性が、わたしたちを神の永遠の詩とならせて、神の輝く表現とならせるためです——創3:24。I コリント1:30。ローマ5:10。I ヨハネ3:2。エペソ2:10。啓21:10-11。

© 2018 Living Stream Ministry